2020 年第 2 回懇話会

企画委員会

本年度第 2 回懇話会を開催しました。会員お二人からの講演で、実際に旅行してこそ得られる体験談と現地情報の臨場感あふれる紹介でした。この懇話会でバーチャルトリップを味わっていただけたようです。

日　時：11 月 4 日（水）13：30 分～16：10
場　所：東京ボランテア市民活動センターB 会議室
　　（JR 飯田橋駅隣接セントラルプラザ 10 階）
参加費：会費 300 円
参加者：17 名(コロナ禍のため人数制限)

13:30 開催挨拶　理事長
13:40　講演　I
「中国東北地方を巡る旅　旧満州の建物に接する」
講師　会員 A（詳細；会報夏号 p 28～29）

今回 3 回目の訪中で、常州の 15 年ぶりの変貌に驚き、ハルピン、長春、瀋陽にある満州国時代の建物が、そのまま活用されていることが印象に残ったそうです。

ハルピン；伊藤博文が暗殺されたハルピン駅のホームが保存されている。高層アパートが目立ち、夜店が賑やかだった。

長春（新京）；新幹線移動に際し、航空機搭乗と同じようにボディチェックゲートがあるのにかなり違和感があった。満州国の宮殿などはそのまま残っていた。

瀋陽（奉天）；3 か所目の故宮見学となった。ガイドの心情吐露では、子どもの塾の教育費や市内ホテルの宿泊費が高騰している。日本の方が安く羨ましい！と。

観光客向けのトイレは格段に良くなり、昔の自転車天国はなく乗り捨て自由の電動自転車が街中に用意してあったそうです。中國が変容する段階でのひずみの話は、興味を引くところでした。

14:35　休憩

14:45　講演　II「アイスランド絶景めぐり」
講師　会員 T　詳細；会報夏号 p 25～27）

アイスランド旅行について写真による名所旧跡の紹介がありました。

アイスランドは、北海道を二回りほど大きくした面積の国土で 20 世紀にデンマークから独立したそうです。温暖な海流に囲まれ、国名の「氷」とは異なり、島の周りを暖流が流れている関係で寒さもさほど厳しくなく 250 種の高山植物があるそうです。

国がオーロラベルト地帯にあり、空にはオーロラが、地にはマントルの沸きだしによる地溝帯を見る、興味津々の観光をしたそうです。

ゴールデンサークル；国土の南西部の定番観光のルートです。グトルフォスの滝は、落差 30m、幅 70 メートルで虹が出るが光の加減で金色に光るので黄金の滝といわれています。もう一つのゲイシール（間欠泉）は、見事な温泉の吹上をします。20～30mの噴き出しは圧巻です。

セリャランスフォスの滝;海岸付近にあり落差 40m、台地が隆起したことで滝になった。夏季には、裏見の滝もでき、水沫の向こうに海岸線が見えるそうです。

ソウルヘイマトークトル；アイスランド観光の目玉、氷河の氷舌です。溶岩を溶かしているので、やや茶色になって海に流れ込んでいます。

ダイヤモンドビーチ；海岸からみるサンセットは、幻想的で形容しがたいものです。

レイキャビク；米ソ冷戦の終結の舞台になった、迎賓館ホフジハウスは、こじんまりとした白壁です。

オーロラ；旅行中は、天候に恵まれたのでオーロラ三昧でした。緑のカーテン、赤色のある昇り龍の姿と変幻自在です。

物価が高く、生ビール（中）やランチが約 2 千円だそうで、これは驚きでした。

16:10　終了